

令和7年度水田魚道指導者全国研修会(in 兵庫)の開催報告

令和7年6月19日(木)～20日(金)、兵庫県神戸市において、令和7年度水田魚道指導者全国研修会(in 兵庫)を開催しました。

本研修は、水田魚道普及の現状と課題、設置技術に関する講義及び現地見学を通じて、水田魚道普及のための指導者等を養成するものとなっています。

今回は、神戸市^{かみつばし}上津橋地区において「田んぼの^{がっこう}楽校」で活用している水田魚道の現場を会場とし、大学関係者、県土連、多面的機能支払の活動組織の方など総勢13名が参加されました。

1日目は、「メダカ里親の会」の中荃事務局長から「水田魚道普及の現状と今後の課題」、「ナマズの^{がっこう}」の三塚事務局長から「水田魚道の開発・普及と管理について」、「農・都共生ネットこうべ」の土井様から「上津橋地区における里づくりの取り組み」と題して講義していただきました。質疑応答では、水田魚道による魚類の遡上と中干し期間の関係性、田んぼの楽校運営委員会の設立経緯等について質問が出され、それぞれ講師から解説していただきました。

2日目は、上津橋地区の水田魚道、ほ場整備事業で造成したビオトープ等を見学し、水田魚道によって遡上してきた生きものや水路に生息する生きものを確認しました。その後、上津橋地区の取組を参考に水田魚道の活用方法について意見交換会を行いました。意見交換会では、上津橋地区の水田魚道の設置費用、環境配慮施設における必要な維持管理と地域への理解醸成方法、水田魚道等と関連づけたブランド米の取組等について議論が交わされました。

受講生からは「地元に設置されている水田魚道の維持管理を見直し、生き物が住む田んぼになるように変えていきたい。」、「水田魚道があることにより生き物が定着し、生き物が住みやすい環境作りをしておりとても良い取組みだと思った。」といった意見もいただき、水田魚道の今後の展望について学ぶ貴重な研修会となりました。



撮影場所：兵庫県神戸市

撮影日：令和7年6月20日



上津橋地区ビオトープの説明



現地見学（水田魚道）



現地見学（生きものの観察）



室内講義



意見交換会



意見交換会



意見交換会



集合写真